

観光プロモーション事業効果検証・分析対象事業の概要

ア 観光誘客促進事業（事業の詳細は、別添の昨年度活動実績を参考）

① 伊賀上野 NINJA フェスタ in 上野恩賜公園

東京でもっともファミリー層が集まるといわれている上野恩賜公園において、伊賀流忍者及び伊賀産にこだわった PR イベントを実施する。

・実施予定日 平成29年11月23日（木）～26日（日）

② 伊賀上野 NINJA フェスタ in 天神橋筋商店街

関西一の乗降客数を誇る大阪駅や日本一長いと言われる商店街を有する大阪市北区役所と天神橋筋商店街連合会（1～3丁目及び四番街）との協働により、商店街活性化と伊賀市へ誘客、伊賀ブランドの周知のためPRイベントを実施する。

・実施予定日 平成30年3月（日時未定）

イ 忍者都市宣言キャンペーン

① 新幹線主要駅でのデジタルサイネージ掲出

東京・名古屋・新大阪の三大都市圏および外国人観光客が多く利用する「京都」の新幹線駅構内のデジタルサイネージに広告を掲出する。

・期間 8月1日（水）～31日（木）

・掲出概要 各駅あたり約4,860回（京都は7,290回）掲出

② その他

ポスター製作など検討中

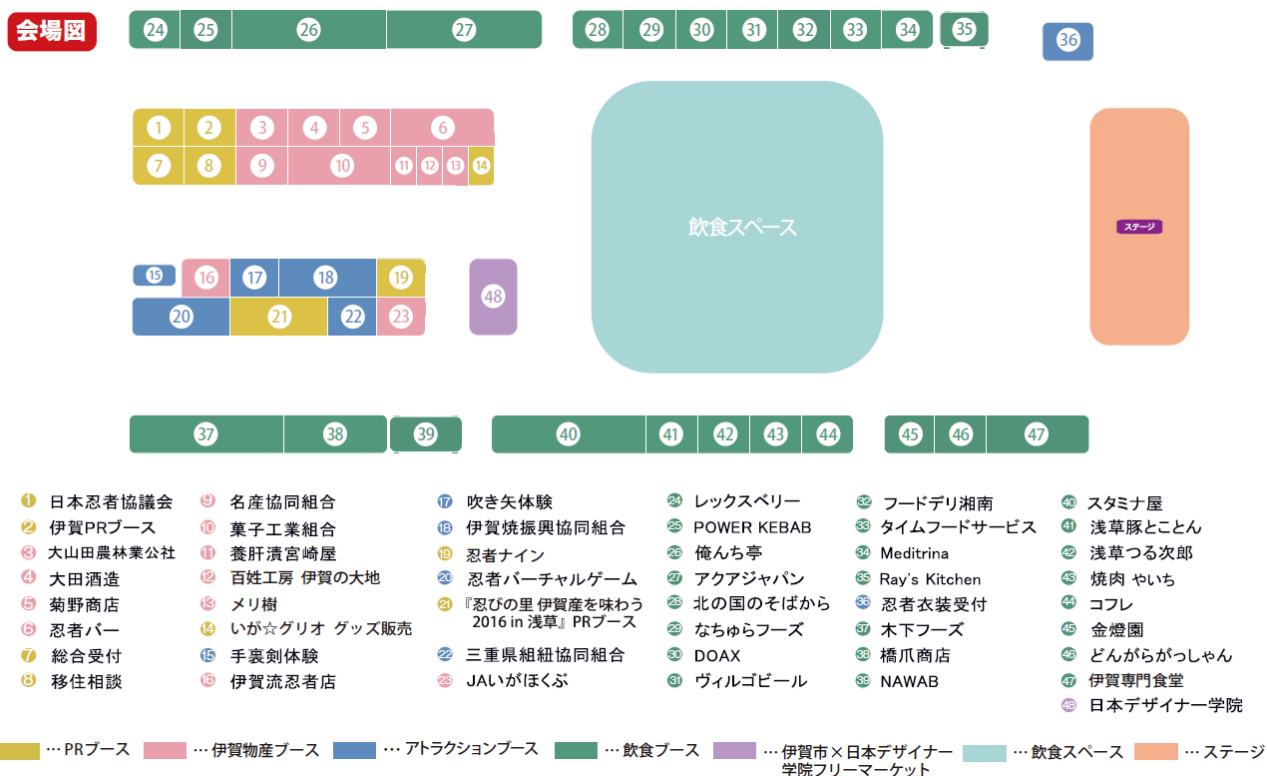
【別添】

伊賀上野 NINJA フェスタ in 上野恩賜公園
活動実績報告書

実施日 平成28年11月18日（金）
～20日（日）

活動実施報告書

- 名称 伊賀上野N I N J Aフェスタ in 上野恩賜公園
- 日時 平成 28 年 11 月 18 日～11 月 20 日
- 場所 上野恩賜公園 噴水前広場
- 入場者数 130,000 人 (11/18 30,000 人 11/19 40,000 人 11/20 60,000 人)
- 天候 11/18 晴れ 11/19 雨のち曇り 11/20 晴れ
- スタッフ数 11/18 15 名 11/19 25 名 11/20 20 名



ステージイベント プログラム

11/19

- 阿修羅 忍者ショー
- いが☆グリオショー ※でんぱ組 夢眠ねむサプライズ出演
- 伊賀上野 NINJA フェスタ〇×クイズ
伊賀米 2kg プレゼント
- 忍者ナインショー

■忍者フェスタライブ

- ・東京忍者
- ・上野女学院さくら組
- ・小泉花恋
- ・WhiteLaceZOKU
- ・ボンボンアンジュ
- ・民謡ガールズ
- ・岩佐美咲

11/20

■いが☆グリオショー

■阿修羅 忍者ショー

■ダブルダッチショー

■忍者キッズダンスショー

- ・リズムアート
- ・A.colers
- ・AHA ダンススクール
- ・新体操サークルポニョ

■伊賀上野N I N J Aフェスタ〇×クイズ

伊賀米 2kg プレゼント

ステージについて

19日（土）の悪天候により忍者ダンスショーが中止になりましたが、阿修羅本体が初見参で本格的な忍者ショーをしていただくなど、概ね満足いくステージ構成になったかと思えます。忍者フェスタ LIVE のあり方については検討課題とさせていただきます。

アトラクション

■手裏剣・吹き矢・ヴァーチャルゲーム 578名

■忍者衣装レンタル レンタル数 139着

■伊賀焼体験 87名

■組み紐体験 125名

アトラクションについて

19日（土）の天候が悪く、また初日が平日ということもあり昨年と比べると体験者数は減少してしまいました。しかし、20日（日）は気候も良く手裏剣体験などは行列ができるほど賑わっておりました。また、忍者衣装に関しても同じように20日に関しては130着以

上出る盛況ぶりでした。

事前告知

■ポスター掲示 台東区立小学校（19校）・幼稚園（11園）

上野近隣飲食店等 30枚

■リーフレット配布 台東区立小学校 6,500枚

台東区立幼稚園 850枚

寛永寺幼稚園 270枚

浅草寺幼稚園 300枚

上野近隣飲食店等 300枚

事前告知について

今年は昨年に続き台東区立幼稚園や近隣私立幼稚園の全児童に加え、新たに台東区立小学校の全児童にリーフレットを配る試みを行いました。

その結果、日曜日は朝から手裏剣体験や忍者衣装レンタルなど求める多くの家族連れにご来場いただきました。

■メディア

◆新聞社

朝日新聞 11/17 朝刊掲載

いざ！ NINJAフェスタへ
18と20日に上野公園（台東区）で開かれる「伊賀上野NINJAフェスタ」を前に、三重県伊賀市のPR隊が朝日新聞東京本社を訪れた。

フェスタでは「伊賀忍者特殊軍団 阿修羅」や市のゆるキャラ「いが☆グリオ」のショー、手裏剣打ちと吹き矢の体験、忍者衣装のレンタル（数量限定、1日千円）、物産展などを予定している。忍者姿のPR隊は「忍者を体験しに、ぜひ遊びに来てください」。

抽選で「かたやき」（せんべい）とゴム手裏剣のセットを5人にプレゼントする。はがきに郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を書き、〒113-0034文京区湯島3の34の8、アイキューワン内「朝日P係」へ。26日消印有効。

◆TV

NHK 関東ローカルニュース 11/17 11:27～28 前日告知

◆ラジオ

三宅裕司サンデーヒットパラダイス 現場生中継リポート 11/20 9:15、10:30、11:20

◆WEB

WEB 媒体 60 以上掲載

- ・朝日新聞ブログ

<http://www.asahi.com/shimbun/company/tour/aring/blog20161117.html>

- ・レッツエンジョイ東京

<http://www.enjoytokyo.jp/amuse/event/1232133/>

- ・livedoor news

<http://news.livedoor.com/article/detail/12298961/>

- ・いこーよ

<http://iko-yo.net/articles/1822>

メディアについて

前日の NHK の情報番組の中でレポーターの方がくノ一衣装を着て本イベントの告知を 1 分間ほど行っていただきました。また、日本放送の人気番組の一つでもある三宅裕司サンデーヒットパラダイスに現場生中継が 3 回入るなど今まで以上の効果を得ることが出来ました。

課題としては TV の現場取材などは働きかけを行いましたが出現することが出来ずに終わったことなどがあげられます。

制作物

- ・ポスター100 枚



- ・パンフレット 13,000 枚



- ・ステージ上幕



- ・会場入口横幕



- ・受付上部幕



- ・顔出しパネル



・ HP



制作物について

今まで同様、今年も日本デザイナー学院の協力により様々な制作物をつくりました。
SNS での拡散を行うために顔年パネルを 2 体作り会場入り口に設置した結果、外国人観光客をはじめ様々な方に利用していただきました。

また、イベント名が来場者にわかるように会場入口に横幕を設置、また総合受付の上にも一目でわかるように横幕を設置しました。

パンフレットに関してはリニューアルを行い、会場図や伊賀物産情報を掲載し利便性、PR 効果が上がる内容に仕上げました。

総評

一昨年、昨年と 3 連休開催で天候にも恵まれておりましたが、今年は 1 日目が平日で 19 日（土）が朝の雨と気温が低かったため来場者数を大きく落とす結果となってしまいました。

しかし、伊勢志摩サミットでも大絶賛の阿修羅本体の出演、大妻女子大学とのコラボ企画（伊賀酒カクテル）がスタートするなど新たな試みもあり内容的には充実したものになったのではと思われます。

会場構成に関しても伊賀ブースは忍者をイメージし黒幕を使用、会場入り口に横幅 7 m 長のイベント名が記載された横幕、噴水側入り口にはイベント名を記載した提灯を設置するなどし、来場者にイベント名・忍者を理解してもらうよう努めました。

反省点としましては黒幕にした結果、開口していないブース（事務局・控室など）が暗く利便性が非常に悪かったことがあげられますので来年度は改善いたします。

伊賀上野 NINJA フェスタ in 天神橋筋商店街
活動実績報告書

実施日 平成29年3月4日（土）

【概要】

交通事業者（大阪市営地下鉄等）との連携による伊賀市の観光振興、誘客促進、大阪市内北区の地域活性化、天神橋筋商店街の振興を図るため、日本一長い商店街をフィールドに春の伊賀上野NINJAフェスタのPRを兼ねたイベントを実施した。

【実施内容】

詳細は別紙の実施マニュアルを参照

1. 忍者に変身して商店街散策スタンプラリー

200名限定で伊賀流忍者衣装を貸し出し、商店街に設置されたポイントを探索。

忍者衣装の体験をすることにより、本場伊賀への誘致を促した。



また、参加者には伊賀上野NINJAフェスタ2017のクーポンを配布し、直接的な勧誘による誘客を図った

2. 伊賀上野NINJAフェスタ 忍者パレード

日本屈指のマーチングバンドである扇町総合高校吹奏楽団の伴奏で、伊賀市長、伊賀市観光大使「いが☆グリオ」をはじめ、商店街関係者など約60名によるパレードを行なった。

忍者市宣言ののぼり旗などを掲げ、大阪天満宮や商店街を訪れる人たちに「忍者のまち“伊賀市”」のPRを行なった。





3. 伊賀上野NINJAフェスタ 天満天神忍者ミニ道場

商店街内に手裏剣、吹き矢、バーチャルゲーム、綱渡りのミニ道場を設けた。

忍者衣装同様、本場伊賀での忍者体験への誘致を促した。



4. その他関連事業

2月15日より約2週間のわたり、大阪有数の乗降客を誇る市営地下鉄梅田駅構内にて、イベント及び伊賀市のPRディスプレイを設営した。



また2月上旬より天神橋筋商店街においても忍者ディスプレイを配置し、商店街を訪れる人たちに「伊賀上野＝忍者」というPRを行なった。



【事業完了にあたり】

大阪天神橋筋をフィールドとした当概イベントは4年目となり、天神橋筋商店街では毎年3月の風物詩として定着してきた。

大規模な集客は難しいが、確実に誘客が期待できる地域でのPR事業であるため、継続して伊賀市を発信し誘客や販路拡大に繋がるような展開についても検討していく必要がある。

今後は忍者衣装体験やパレードといった当時のみのイベント以外にも商店街での長期間のキャンペーンが行なえるよう北区役所、商店街と連携して事業展開を考えていきたい。